

皆さん、おはようございます。暖かな春を迎え、生命が躍動する新しい季節が始まりました。つい最近まで、綺麗に咲いた桜が満開でした。私は、その満開に咲いた桜の花を、下から見上げた時、桜はしっかりした根を土の中に張っているから、根が幹や枝を支え、きれいな花が咲くのだと思いました。

新学期に当たり、ある言葉を紹介します。それは、「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」という言葉です。

二〇〇〇年に開催されたシドニーオリンピックの女子フルマラソンに出場した高橋尚子さんは、この言葉を胸に結果が出ないときにも、毎日走り続け、オリンピックに臨み、金メダルを獲得しました。

マラソン競技は常に数字がつきまとい、結果が出ないと焦ったり、諦めたりしがちです。高校時代、無名だった高橋尚子さんは、結果が出ない苦しいときも、努力し続けるという心の根を伸ばし続けたからこそ飛躍し、やがて大きな花を咲かせたのでしょう。

では、まだまだ鍛えきれていないため、伸びしろが大きい皆さんは、十年後に、どんな大人になっているのでしょうか。夢や目標に向かって、歩んでいるのでしょうか。ぜひ、大きい花を咲かせるために、高校時代からしっかりした多くの根を張って欲しいと強く考えます。皆さんが、まだ見ぬ、すばらしい自分と出会えるよう、自分自身の中で眠っている「無限の資質・能力」を引き出していきましょう。そのために、校長の私からとっておきの三つの心を伝えたいと思います。

一つ目は「学び合う心」です。今、正解のない問いに対して、みんなで協力して、みんなが納得できる答えを見つけ出す力が求められています。友人とともに学び合って新しい時代にふさわしい学力を身につけてほしいと思います。

二つ目は「支え合う心」です。人は自分一人の力で生きることは難しいものです。互いを認め合い、互いを思いやり、互いを尊敬しあえる友の力が必要です。心を通じ合える真の友人関係を育ててください。「人それぞれに花あり」という言葉があります。大きくなくてもいい、自分だけの美しい花を高校時代にたくさん咲かせてください。

三つ目は「高め合う心」です。「昨日歩いたこの道、今日歩くこの道、明日歩くだらうこの道。同じだけど違っている。そういうことに気づく人になりたい」という言葉があります。私はこの言葉を、昨日よりは今日、今日よりは明日、自分自身が少しだけ高いところに進もう、そうすれば違った視点で物事を見ることができると、という意味で捉えています。仲間とともに、先生とともに夢を語り合い、目標を定め、一生懸命努力して、毎日、一步前進できるような高校生活を送ってください。

新学期です。「学び合う心」「支え合う心」「高め合う心」という三つの心を忘れずに、新しい目標を立て、いろいろなことに挑戦して、自らの力で大きく成長することを期待します。

今日の午後には、入学式が行われ、新入生を迎え入れます。皆さんが、よき先輩として新入生を導き、野村高校に多くの花を咲かせていきましょう。

このことをお願いして、始業式のあいさつとします。